

(社) 日本建築学会 近畿支部
2011 年度第 3 回空気環境部会議事録 (案)

日時：2011 年 11 月 2 日 (水) 17:00~20:00

場所：日本建築学会近畿支部会議室

出席者：安福、井上、甲谷、小林、萬羽、檜崎、山中 (主査)
桃井 (幹事)、東(実) (幹事、記録)

資料：・議事次第	資料 3-1
・2011 年度第 2 回空気環境部会議事録(東幹事)	資料 3-2
・24 時間自然換気住宅の換気量測定 (桃井幹事)	資料 3-3
・住宅換気に関するアンケート調査 (萬羽・東幹事)	資料 3-4
・第 4 回空気環境シンポジウム (案) (東幹事)	資料 3-5
・平成 24 年度空気環境部会予算申請書 (東幹事)	資料 3-6

議事：

- ・ 前回議事録 (2011 年度第 2 回) が承認された。[資料 3-2]

1. 24 時間自然換気住宅の換気量測定について

資料 3-2 に基づき、8 月 18-19 日に実施した換気量測定結果の概要説明がなされた。

- ・測定条件について

8 月 18 日：測定準備および全閉条件

8 月 19 日：①全閉 ②部屋間仕切り開放 (エアコン停止) ③全閉 (エアコン稼働)

いずれも SF6 を定常発生させ、濃度減衰を連続測定

- ・ウエザーバケット (WB) とアメダス (彦根) データの比較

調査対象住宅の北東 21.2m の路上に設置した WB と彦根観測データを比較したところ、概ね同様の傾向であったが、風向図のみ若干差がみられた。

- ・温湿度分布・経時変動について

室内測定ポイント間の分布は少ない傾向であった。発生時、減衰開始時、測定終了時の正確な時刻をプロットして引き続き検討する。

- ・SF6 濃度の時間変化・換気量算定について

トレーサーガス濃度減衰法 (ステップダウン法) で SF6 濃度時間変化より換気回数を算出した結果、①全閉状態で 3.5~4 回/h、②部屋間仕切り開放 (エアコン停止) 条件で 0.8~1 回/h、③全閉 (エアコン稼働) 条件で 0.5~0.8 回/h であった。有効混合容積を加味して引き続き検討する。

2. 住宅換気に関するアンケート調査について

- ・住宅換気に関する設計者および居住者アンケート調査 (案) が示され、質問項目、内容、レイアウト等に関する意見交換がなされた。部会活動の一部として、調査を実施し、11 月中に配布し、12 月に回収する予定で担当者 (阿部・萬羽・東幹事) 作業を進める。

3. 第 4 回空気環境シンポジウムについて

- ・資料 3-5 に基づき、第 4 回空気環境シンポジウムに関する議論を行った。シンポジウムタイトルは、仮題とし、引き続き検討することとした。講演者、タイムスケジュールは資料通りとし、これまで通り部会活動としてシンポジウムを主催する方針とした。

4. 次年度の活動計画について

- ・資料 3-6 に、基づき、次年度の活動計画および予算請求について議論した。次年度の体制は、山中主査、桃井幹事は継続して頂き、東幹事にかわって安福委員に幹事をお願い

いすることとした。

- ・次年度の部会活動計画の主たるテーマは、
 - ①国内外各種法令における換気・空気質基準の検討
 - ②各研究機関における空気環境研究の動向 とすることとした。
- ・シンポジウムは隔年開催とするため、次年度は開催しない。
- ・予算請求額は昨年と同額とした。

次回部会 日時：1月25日（水）17:00~19:30
 場所：近畿支部会議室
 内容：換気関連解析・調査の進捗状況の報告と検討
 シンポジウムについて
 委員からの話題提供

以上